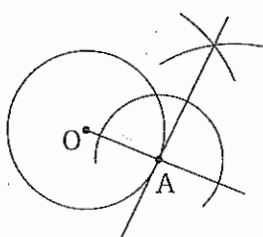


令和 7 年 度 採 点 の 手 引 (数 学)

問 題	正 答	配 点	採 点 上 の 注 意
1	(1) $3x$	4	
	(2) 4	4	
	(3) $2y$	4	
	(4) $-x = -4$	4	
	(5) $\sqrt{7}$	4	
	(6) $(x-5)(x-8)$	4	
	(7) $x = -3, y = -2$	4	
	(8) $x = \frac{1 \pm \sqrt{73}}{4}$	4	
	(9) $y = \frac{12}{x}$	4	
	(10) 35 (度)	4	
	(11) ウ	4	
	(12) $36\sqrt{14}$ (cm^3)	4	
	(13) $\frac{2}{5}$	4	
	(14) $2\pi - 4\sqrt{2}$ (cm^2)	4	
	(15) 13 と 14	4	
	(16) (ア にあてはまる値) 0.35 (説明) (例) 54 回以上の階級における相対度数の合計は A 中学校が 0.8, B 中学校が 0.55 であるから, 割合が大きいのは A 中学校である。	5	内容に応じて部分点を認める。

問 題		正 答	配 点		採 点 上 の 注 意
2	(1)	(例) 	5	1 1	内容に応じて部分点を認める。
	(2)	(証明) (例) $\triangle ABD$ において、中点連結定理より、 $EF \parallel BD \dots\dots\dots ①$ $EF = \frac{1}{2}BD \dots\dots\dots ②$ 仮定から、 $DC = \frac{1}{2}BD \dots\dots\dots ③$ $①$ から、 $EF \parallel DC \dots\dots\dots ④$ $②, ③$ から、 $EF = DC \dots\dots\dots ⑤$ $④, ⑤$ から、1組の向かい合う辺が平行でその長さが等しいので、四角形 EDCF は平行四辺形である。	6		要点をおさえ、論理の筋道がとっているものは、正答とする。 内容に応じて部分点を認める。
3	(1)	ア 13 イ 243	4	1 4	
	(2)	(説明) (例) 点 C, D の値は $a + b$, 点 E, H の値は $2a + b$, 点 F, G の値は $a + 2b$ なので、 $a + (2a + b) + (a + b) + (a + 2b) + b + (a + 2b) + (a + b) + (2a + b) = 9(a + b)$	5		内容に応じて部分点を認める。
	(3)	n の値 5 点の最大値 50	5		
4	(1)	$y = \frac{3}{2}x + 6$	4	1 0	
	(2)	$x = \frac{1 + \sqrt{17}}{2}$	6		
配 点 合 計			1 0 0		